

ビデオ 通信

2019年
3月7日(木)
No.4260

月・木曜日発行
1ヶ月¥11,000(税別)
発行：飯澤剛 編集：齋藤浩一

ユニ通信社

〒106-0047
東京都港区南麻布5-2-37
DEPECHE MODE 4F
TEL: 03-5422-7515
FAX: 03-5422-7516
E-mail: vt@uni-press.net

映学社

『「やさしく」の意味—おばあちゃんは認知症だった—』が完成

敦賀市小学生の認知症サポート作文を映画化した児童劇映画
認知症と向き合う子どもたちに“やさしく接する大切さ”を伝える



『「やさしく」の意味—おばあちゃんは認知症だった—』
制作統括・監督：高木裕己／企画協力・医学指導：玉井顯／
原作：三輪実由『「やさしくする」ということ』作文より／脚本：
浅尾政行、高木裕己／撮影：中井正義／照明：長谷川明夫／
録音：西島房宏／音楽：加藤由美子／編集：高木裕己／助監督：
佐々木利男／制作主任：川下和裕／キャスト：東平七奈
／制作・著作：映学社／後援：敦賀市教育委員会／協力：敦賀市、
敦賀市長寿健康課、敦賀市立敦賀南小学校、市立敦賀病院、
平和堂アル・プラザ敦賀、ケア・サービス・アイ、ほっとステ
ーション、銀河会・児童合唱団／挿入歌：「空より高く」

(株)映学社が制作を進めてきた、福井県敦賀市の小学生が書いた認知症サポートに関する作文を映画化した児童劇映画『「やさしく」の意味—おばあちゃんは認知症だった—』が完成した。この作品は、全国の認知症患者とその家族、その人たちが取り巻く地域社会、1人1人が安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを示唆するドラマ。代表取締役社長の高木裕己氏は「子どもたちに伝えたいメッセージは「認知症の人にも感情やプライドがある」。セリフで物語をつなぐのではなく、子どもたちの表情や眼差しが、いかに認知症の人たちの心を動かしていくかの

表現にこだわりました。この作品によって国内外の認知症サポート活動の広がり貢献したい」とする。1月30日に同作品関係者に呼びかけての完成披露試写会が敦賀市で開催されたほか、敦賀市はこの映画に協力したことにより全国キャラバン・メイト連絡協議会の認知症サポーター優良活動事例・特別賞を受賞している。同社では、各自治体の視聴覚ライブラリー等に向けて販売していくほか、英語版を作成して海外の映画祭などに出品していく考え。

認知症サポート先進市の敦賀市だからこそ意義がある

福井県敦賀市では「認知症ほっとけんまち 敦賀」をスローガンに、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活が続けられる街を目指し、認知症の普及啓発、早期発見などに取り組んでいる。認知症サポーターの数も平成30年度で1万人を超え、10年前と比べて約10倍も増加。平成22年度からは小中学校を対象とした認知症サポーター養成講座も積極的に開催している。

『「やさしく」の意味—おばあちゃんは認知症だった—』の制作統括・脚本・監督・編集をつとめた



映学社が制作した人権学習教育映画『涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代へ伝えて』が、ハリウッド国際インディペンデントドキュメンタリー賞で奨励賞を受賞した。授賞式は3月23日、米国カリフォルニア州ハリウッドのRaleigh Studiosで行われる。なお、同映画祭では『こんにちは 金泰九さん ハンセン病問題から学んだこと』が2016年に奨励賞を受賞している。

高木裕己氏は「今後ますます大きなテーマとなる「認知症と人権」を扱うシリーズの一環として制作しました。『何をしたか、思い出せない～認知症をよ

く知り、早めの備えを～』『無事に帰れる街づくり～認知症の道迷い(徘徊)には理由がある～』『いつでも連絡してね～地域で認知症の家族を支える～』という当社の“認知症3部作”で監修いただいた敦賀温泉病院の玉井顯院長と話していく中で、「敦賀市は小中学校から認知症サポーター養成講座を積極的に展開し、小学生でも大変良い作文を書いている」と聞き、「認知症サポート作文の映画化には敦賀市にとって意義がある」と提案しました」と振り返る。また、映学社が法務省人権擁護局の協力で「全国中学生人権作文コンテスト受賞作文」を映画化した『悩まずアタック！ 脱・いじめのスパイラル』『こんにちは 金泰九さん ハンセン病問題から学んだこと』『涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代へ伝えて』を制作、教育映像祭や映文連アワード、国際人権映画祭(ジャカルタ)、ハリウッド国際インディペンデントドキュメンタリー賞、国際インディペンデント映画賞(カナダ)、オニロス映画祭(イタリア)など、国内外のアワードを受賞していることも、大きな説得材料になったという。

いかに子どもたちが認知症と向き合っていくのか

2018年春、認知症サポーター養成講座を受けた小中学生を対象に一般社団法人 生涯学習支援機構(代表理事:高木裕己氏)主催の第1回「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」が敦賀市で開催され、最優秀賞に選ばれた三輪実由さん(小学4年生・当時)の作文『「やさしくする」ということ』を原作とする映画制作が決まった

制作期間は約1年。敦賀市で取材・インタビューを行うなど、4月～10月の約半年かけてシナリオづくりが進められた。高木氏によると「認知症って何？」など認知症を理解させる目的の映像はこれまでも沢山ありましたが、「子どもたちが認知症とどのように向き合っていくのか」という情操教育的な映像作品はありませんでした。“人生100年”をテーマとし、高齢の認知症家族を抱える家庭の中で、いかに子どもたちが認知症の方々を見守っていくか、どんなサポートができるのかをわかりやすく理解できる作品を目指しました。ドラマ仕立てにすることで、押しつけではなく、子どもたちが一番大切である“接し方”を



自然に理解していく作品にできると考えました。認知症の方々は同じことを何度も聞きがちですが、根気よく、しかも“やさしく”接することが大切です。認知症の人たちは非常に感情が豊かなので、やさしい表情で話せば素直に接してくれますが、怒った顔で接すれば怒ってしまう。子どもたちに「認知症の人にも感情やプライドがあるんだ」というメッセージを伝えたいと考えました」という。

表情や眼差しで“優しく接する大事さ”を表現

撮影は10月後半から11月初旬、室内シーンは主に東京で、屋外ロケは全て敦賀市で行った。撮影には敦賀市の病院や地元スーパー、ケアサービスなどが全面的に協力、三輪さんやクラスメイトも授業風景や下校風景などで出演しているという。

〈演出上のポイントは、セリフでストーリーをつなぐのではなく、子どもたちの表情や眼差しが、いかに認知症の方々の心を動かしていくか——を表現すること。主人公の女の子が黙ってひいおばあちゃんを見つめる表情を多く盛り込むこと

で物語に厚みを持たせることができたと思います。認知症の人たちにはそうした表情を読み取る力があることへの理解が、“やさしく接することの大切さ”へとつながっていきます〉と高木氏。

また、作品後半の挿入歌にもこだわったという。女の子が曾祖母にプレゼントする曲として『空より高く』を起用、約3分にわたって子どもの合唱を流すのに合わせて、動物や人々が厳しい自然の中でも優しく生きている姿を描いている。



撮影風景

国内外の認知症サポートを広げていくために



『「やさしく」の意味 —おばあちゃんは認知症だった—』の完成披露試写会が1月30日、敦賀美方消防組合本部 講堂で、湊上隆信市長や副市長、教育長など行政関係者、玉井院長のほか、敦賀南小学校の児童も参加して開催された（←写真）。



また、敦賀市が「小学生サポーター原作の教育映画がさらなる認知症啓発の扉になった」と評価され、全国キャラバン・メイト連絡協議会の認知症サポーター優良活動事例 特別賞を受賞、2月2日に東京・平河町の砂防会館で表彰式が行われた（←写真）。

同作品は今後、自治体等の視聴覚ライブラリー、人権課、福祉課などや学校に対しても販売されるほか、現在英語版の制作を進めており、海外の映画祭などにも積極的に出品していくという。高木氏は〈認知症サポーターを増やしていくという活動は全国的に展開されており、しかも子どもの時から始めるという動きになっていますから、小中学生向けの道徳教材にも使えるのではないかと考えています。また、中国や東南アジアでも日本の認知症サポートや人権擁護活動への関心が高まっています。英語版によって、海外にも日本の認知症サポートの姿を広めていきたい。これも1つの社会貢献だと思って頑張っています〉と話している。

◇映学社 <http://www.eigakusya.co.jp/>



高木裕己氏

社会性の強いテーマを 教育映像で訴えています

2018～19年、国内外の多くの映画祭において、弊社の作品の数々が受賞しました。

国外映像祭 受賞作品

涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代へ伝えて

スポットライト・
ドキュメンタリー映画賞
(アメリカ・アトランタ)
銀賞 受賞!

アコレド映画祭
(アメリカ・サンディエゴ)
優秀賞 受賞!

マインドフィールド映画祭
(アメリカ・アルバカーキ)
プラチナ賞 受賞!

ハリウッド国際インディペンデント
ドキュメンタリー賞
(アメリカ・ロサンゼルス)
奨励賞 受賞!



中学生以上・一般向け 28分
※字幕版同時収録
DVD 65,000円+税
学 33,000円+税

法務省人権擁護局
協力

第34回全国中学生人権作文コンテスト
法務大臣賞『戦争を次世代へ伝えて』映画化

国内映像祭 受賞作品

第60回 科学技術映像祭 部門優秀賞

(自然・くらし部門)

自分の運転のここが危ない! 高齢ドライバー 安全運転のポイント

一般・高齢者向け
20分
DVD 65,000円+税

日本交通安全教育普及協会
推薦



2018年 教育映像祭 優秀作品賞

ハイウェイでまさか!
高速道路に潜む危険

一般向け
19分
DVD 65,000円+税

どうして盗まれる? 個人情報
ネットトラブルに巻き込まれない秘訣

一般向け
24分
DVD 65,000円+税

みんなの個人情報
なぜ知られる? どうしたら守れる?

小学生向け
20分
DVD 65,000円+税
学 33,000円+税

中学生の高校受験対策シリーズ②
面接で合格を勝ち取る
受験生の身だしなみとマナー

中学生向け DVD 55,000円+税
20分 学 25,000円+税

大丈夫ですか! 高速道路の落下物
事故の誘発者にならない心がまえ

一般・トラックドライバー・交通事業所の運行管理者向け
18分
DVD 65,000円+税

 株式会社 **映学社**
EIGAKUSYA CO., LTD

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-7-8 らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 FAX: 03-3359-4024
E-MAIL: info@eigakusya.co.jp

<http://www.eigakusya.co.jp/>